

Q31a **すざくによるガンマ線未同定天体 HESS J1841-055 の観測**

河島 久実子, 信川 正順, 鶴 剛, 小山勝二 (京都大学)

HESS J1841-055 はおよそ1度角に広がった最も大きな UnID TeV ソースの一つで、どの波長領域でも対応天体がいまだ見つかっていない。我々は「すざく」を用い HESS J1841-055 を観測した。その結果この領域から複数の天体を発見し、その詳細解析を行なった。(1) 大質量 X 線連星系 AX J1841.0-0536: X 線光度が  $\sim 10^{32} - 10^{37} \text{ergs s}^{-1}$  の広いダイナミックレンジを持ち、最短で 100 s 程度の早い変動を示した。(2) ソフトバンド (0.5 – 2.0 keV) で広がる X 線放射: 光学的に薄い熱的なプラズマモデルで表された、超新星残骸である可能性が高いとされる。(3) ハードバンド (2.0 – 10 keV) で 2 分角程度に広がった天体: 吸収が  $N_{\text{H}} \sim 10^{23} \text{cm}^{-2}$  と非常に大きく、赤方偏移した鉄輝線を付随していたことから、銀河団の候補であろう。この中で、HESS 天体との関連性が最も高いものは (2) の超新星残骸候補だと考えられる。本講演では詳細な観測結果について報告する。